

～ “制度の整備” から “制度の活用向上による社員満足向上” へ～ 育児支援プログラムを強化

株式会社リロクラブ

企業福利厚生総合アウトソーシングサービス最大手の株式会社リロクラブ(東京 新宿区 代表取締役社長 越永 堅士)は、平成19年4月1日より、育児支援プログラムを強化し、総合的なサービス提供を開始しました。

ワークライフバランスに関して、小さい子どもを持つ 30～40 歳代の企業で働く女性は「子育てと仕事を両立したい」と考える人の割合が多い一方で、現状の職場環境では難しいと考える割合が高く、育児支援制度に関するニーズは非常に高まっております。こういった社員の育児支援制度に対する高いニーズに対し、企業に対する満足度は非常に低く、その最も大きな理由のひとつとして、制度自体が非常に利用しにくいというものがああります。一方、企業においては少子化による労働人口の減少から、女性を積極的に活用することを今後の重要課題であると位置付け、子供を持つ女性が安心して働ける労働環境に対するニーズに対応すべく、整備が急ピッチで進められております。

リロクラブはそういった企業ニーズへのソリューションとして、企業の育児支援制度構築・整備といったインフラ整備だけでなく、制度を活用しやすくする環境整備の支援も開始いたしました。同時に、制度を活用しやすくなるよう企業風土の醸成支援といったアドバイスも行います。福利厚生アウトソーシング業界で、最も多くの育児サービスに関して蓄積してきた利用実績とノウハウを活かし、全国の育児施設インフラを活用した利用向上のための環境整備までを可能にしました。

具体的には、約80のベビーシッター会社と契約した全国利用割引、全国約450カ所の託児施設の利用割引(うち業界最多の370カ所がリロクラブの独自補助対応施設)、その他ベビー用品販売割引、無料育児相談ダイヤルの設置などのサービスインフラの提供をベースとして、リロクラブのカスタマーセンターに企業専用の総合コンシェルジュデスクを設置および情報提供のための専用ホームページを設置することで利用のしやすい環境を整備いたしました。

また、当社は小室淑恵氏(株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役)の協力を得て企業のワークライフバランスに関するトータルコンサルティングの実施、リロクラブの育児支援プログラムの提供、同プログラム導入後の説明会の実施等の導入後フォロー活動に至るまできめ細やかなサービス提供を実施いたします。

大手小売企業がリロクラブの育児支援プログラムを採用しており、現在も内定している企業を含めると約10社から引き合いをいただいております。基本はサービスインフラとコンシェルジュデスクの設置で、1社あたりの企業の費用負担は規模によって変動しますが、100万円～500万円となり、リロクラブの独自補助を活用する場合は実費精算となります。今年度は20社の10,000万円の売上を見込んでおります。

————— 育児支援プログラム サービス概要 —————

対 象：民間企業および官公庁、自治体

内 容：基本サービス 育児に関するサービスインフラの提供
育児サービス利用に関する専門デスクの設置
利用促進に関するフォロー
オプション 託児施設の利用補助
労働環境整備に関するコンサルティング
管理職意識改革セミナー等 各種セミナーの開催
職場復帰支援プログラム armo【アルモ】の提供
企業内託児施設設置コンサルティング

■本件に関するお問合せ■

株式会社リロクラブ 経営企画室

担当：樽井

〒160-0022 東京都新宿区新宿 4-2-18 光風ビル 5F

TEL: 03-3225-1730 FAX: 03-3225-9721

URL: <http://www.reloclub.co.jp>